

紙芝居 水の循環

ひがた探検隊では、海の生き物を見つけるだけでなく、年4回を通じて私たちの飲み水や食べ物が大自然からの恵みであることを勉強します。

海の生物を守るため川には汚れた水を流さないようにする事が大事ですし、生活用水も同じです。私たちの普通の生活を振り返ったりしています。漁師さんたちからの「海を汚さないでね」という切なる願いを受け止め、自然環境を壊さないようにするにはどうすれば良いかを考えながらの自然体験です。



① 山に降った雨は湧水として、川、海に流れます。海に流れた水は雲になりまた山に雨を降らせませす。



② 山に降った雨は少しずつ地面にしみ込み、山の中を流れます。山を流れてきれいになった雨は湧水になって出てきます。せつかくきれいになった水も山が汚れては、また汚れてしまい、そこに住む生き物たちも困ってしまいます。



③ 山を流れる水はだんだん大きくなり川となります。



④ 川を流れる水が海にたどり着きました。海と川には沢山の生き物がいます。



⑤ 海の中にはたくさんの生き物がいましたね。みなさんが今日探検したひがたにも魚やカニがいましたね。これらの生き物は水がきれいだから生活していけます。

水の流れの中には、たくさんの生き物がいて私たちはその生き物を食べて生活しています。みなさんこれからも山・川・海を汚さないように生活しましょう。

学生ボランティアリーダーが製作した紙芝居

Message



子どもたちの目が輝く街にするために青少年委員は働きます



編集後記

昨年春から一年間「青少年委員って何をするの?」と思いながら過ごして来ました。青少年委員会が発足して今年で60周年を迎えるに当たり、今回の『メッセージ』は青少年委員会の今迄の活動を振り返る号となりました。編集作業を進めるうちに様々な活動に込められた先輩方の熱い思いを知り、青少年委員会の行事や活動の目的を改めて理解することが出来ました。まだまだ頼りないですが、これからの委員会活動に自信を持って取り組み、子ども達や地域の方々と繋がって行きたいと思ひます。(広報委員 花輪里香子)

ホームページもご覧ください

千代田区 青少年委員会

検索

発達障がいを理解しよう	2~3
ポニー乗馬会について	4~5
ひがた探検隊について	6~7
紙芝居(水の循環)	8
編集後記	

発達障がいを理解しよう ～よりよい支援のために～

青少年委員会では、平成16年から「発達障がいについて理解を深める」という課題に取り組んでいます。理解することやそのお手伝いが支援につながる様になると考え、情報交換の場を提供するなど、私達に出来る事は無いか検討しています。



※詳しく知りたい方は下記HPをご覧ください。
<http://www.gov-online.go.jp/featured/201104/>

～青少年委員会がこれまで行ってきた勉強会～

- 平成17年 2月26日 (土) **「発達障がい研修会」** 麴町中学校 合同教室
 NPO法人 リソースセンターONE 代表理事 上原芳枝先生
 [LD/ADHD等の発達における障がいを理解しよう]
- 7月2日 (土) **「医療現場からのレポート」** 主婦会館プラザエフ
 かなまち慈友クリニック院長 小児精神科医 待鳥浩司先生
 [子どもの発達の道筋を学び、障がいの特徴を理解しよう]
- 平成18年 2月4日 (土) **「発達障がいを語る座談会」** 児童・家庭支援センター
- 7月22日 (土) **「発達障がいのお子さんを見守る会座談会」** 番町小学校
- 11月27日 (月) **「発達障がいを見守る会座談会」** 西神田コスモス館2階
- 平成19年 7月8日 (日) **「筆子・その愛」映画上映会** 千代田区役所1階 区民ホール
 「滝乃川学園」に生涯をささげた石井筆子の波乱の人生を描いた作品。
「山田火砂子監督 講演会」
- 12月1日 (土) **「発達障がいを見守る会」** 西神田コスモス館 西神田小学校・幼稚園記念館
 第6回 座談会 [啓発から理解へ → 理解から支援へ → 支援から共生へ]
「発達障がい理解セミナー」 財団法人 東京YMCA東陽町センター
 石井あさか先生・村松綾子先生
 [LDの心理的疑似体験プログラムへの参加]
- 平成20年 6月28日 (土) **「講演会とシンポジウム」** 千代田区役所4階 会議室
 東京学芸大学教授 日本LD学会会長 上野一彦先生
 講演会 [発達障がい特別支援の理解と課題]
 シンポジウム [世界で一つの花を咲かせる為に]
- 7月19日 (土) **「上野一彦先生による特別座談会」** 千代田区役所会議室
- 平成21年 4月18日 (土) **「自閉症に関する勉強会」** 千代田区役所4階会議室
 ・DVD鑑賞 ・自閉症ペアレントメンターさんのお話 ・座談会
- 平成23年11月26日 (土) **「発達障がい児のきょうだいを理解して支援しよう」** 千代田区役所4階会議室
 きょうだい支援自助グループSHAMS代表 加藤真優さん
 第1部 講演会 第2部 座談会



～勉強会がら得ること～

どの講師の方からも言われる事が有ります。
 「人と違う行動や言動も一つの個性だと捉えれば、それはもう、障がいと呼ばないのです。」と

千代田区の発達支援・特別支援教育の体制

青少年委員会では、昨年度千代田小学校の学校公開やさくらキッズの見学に行ってきました。千代田区の発達支援・特別支援教育の体制についてまとめてみます。

対象	施設	相談の窓口
幼児 1歳児～小学1年生* *小学校への引継ぎがうまくできるように対象を小学1年生まで拡大して継続支援を行える体制が整っている。	子ども発達センター さくらキッズ 	言葉が遅い・手先が不器用・運動がうまくできない・落ち着きがない・かんしゃくが激しい・友達とうまく遊べないなどお子さんの発達に関して心配なことを気軽に相談できる支援施設 さくらキッズ事務局 TEL: 3256-8162 児童・家庭支援センター TEL: 5298-2424
小学生 	千代田小学校 特別支援学級 通級指導学級 九段小学校 校内通級指導	<特別支援学級>(固定級) 知的障がいなど障がいの種別に応じた少人数学級において、障がいのある子ども一人ひとりに応じた教育を行う。 児童・家庭支援センター TEL: 5298-2424 (子どもの発達に関する相談 適切な就園・就学先の相談) 千代田区教育委員会 子ども・教育部 指導課 TEL: 5211-4286 <通級指導学級>(通級) 普段は通っている学校の通常の学級に在籍しながら、障がいの状態に応じた特別な指導を週に1～2回行う。(情緒障がい・言語障がいなど) 千代田区教育委員会 子ども・教育部 学務課 TEL: 5211-4284 (学校・園における必要な支援及び特別支援教育について) 千代田区教育委員会 子ども・教育部 学務課 TEL: 5211-4284 (適正な就園・就学先の決定について) 千代田保健所 TEL: 5211-8161 (心と体の健康について) ジョブサポートちよだ TEL: 5211-2806 (就学先を考えるうえで将来の自立生活の情報が欲しい。生活全般の指導を受けながら仕事をし、自立したい)
中学生 	麴町中学校 特別支援学級 校内通級指導 神田一橋中学校 通級指導学級	<校内通級指導> 在籍している学校内で、障がいに応じた個別指導を行う。 千代田保健所 TEL: 5211-8161 (心と体の健康について) ジョブサポートちよだ TEL: 5211-2806 (就学先を考えるうえで将来の自立生活の情報が欲しい。生活全般の指導を受けながら仕事をし、自立したい)

* 青少年委員会では、障害は害ではないとの思いから障がいとひらがなで表示しています。

It's New

管外研修
 講師: 東京都自閉症協会 理事長 今井忠氏

「発達障がい」～基礎からわかり、そしてその先へ～
 平成25年6月29日(土) 於 メレーズ軽井沢

今井先生はご自身もダウン症+重度知的障がい+自閉症のお子さんをお持ちで、そのご経験を通じ障がい児へのかかわり方を教えていただきました。

それは、「障がい」理解ではなく、「障がい者」の考え方を理解し一人ひとりにあった対応をすることが大切ということです。

また、大人になってからよりも、なるべく正しい早期療育を受けることでスムーズに社会生活に適応しているとのことでした。

「障がいは不便だが不幸ではない。発達障がいそのものは治す対象ではない。」との言葉がとても心に響きました。

(NPO法人) 東京都自閉症協会 <http://www.autism.jp/>
 (社団法人) 日本自閉症協会 <http://www.autism.or.jp/>
 (公益社団法人) 日本発達障害連盟 <http://www.gtid.net/jp/>

ポニー乗馬会

青少年委員会が乗馬会を始めたのは

沢山の子供達に、自然体験のひとつとして身近な場所で乗馬体験をして欲しいとの思いで、2009年から「ポニー乗馬会」を始めました。発達障がいについて勉強する中で、障がい者乗馬についても知り、障がいのあるお子さんにもポニー乗馬会への参加を呼びかけています。

青少年委員会では、毎年神田地区・麴町地区を交互に開催しています。

- 第1回 2009年 神田児童公園
- 第2回 2010年 東郷元師記念公園
- 第3回 2011年 芳林公園
- 第4回 2012年 東郷元師記念公園



ヨイショ～
ヨイショ～
ほく力持ちだよ

ほがほがお天気
お馬さんは
子どもたち
のせて
カポカポ
進むよ♪

アニマルセラピーについて - 動物は不思議な力を持っています -

動物と触れ合い心身をいやすことは、障がい児にとって大変効果があると言われています。話すことができない自閉症の子どもの治療に対して犬を介在させ、命令に忠実な犬をしつけているうちに言葉を覚えて発するようになることがあります。馬との触れ合いを通じて障がい児の身体的・精神的な発育を促す「乗馬療法」もアニマルセラピーの一つです。乗馬によって子どもの発達に必要な揺れや振動などの刺激を与えたり、馬と触れ合うことでコミュニケーション能力が高まる療法です。馬に乗りたいという気持ちさえあれば、身体障がいにも知的障がいにも幅広い効果があります。多動性障がいでは身体のバランスを取る脳の前庭への刺激が得られ、学習障がいは順序立てて考えたり耳から入る認知能力を高めることが必要なことを、馬にのることで脳の感覚をまとめる訓練ができます。アニマルセラピーの中でも乗馬は大切な役割をもっており、可愛い動物達が子どもたちのために、今後も色々な場所で活躍して欲しいと思います。

ハーモニセンターの紹介

1961年に子ども達の為の巡回ボランティアグループとして誕生。

その後、若者の色々な活動を支援し、その中の企画「40日ヨーロッパひとり旅」の際イギリスで出会った「ポニー」が、日本初のポニークラブを誕生させ、徐々に全国に「ポニー」の有用性を広げていった。1973年町田市郊外にポニークラブを開設した時、近くに有った養護学校の子供達をポニーに乗せて楽しんで貰った事が、日本初の障がい者乗馬と言われている。今では、何か所ものポニー牧場で様々なキャンプイベントを主催したり、日本全国にポニーや小動物を連れて行く“移動ふれあい教室”をとおして、暖かな笑顔に包まれるイベントを各地に届けている。



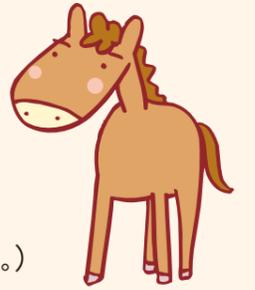
☆公益財団法人ハーモニセンターは、馬と人とのふれあいの世界を広げながら、子どもから大人、高齢者、障がいの有無にかかわらず、あらゆる人々の幸福と健康を推進することを目的とした団体です。



平成25年度ポニー乗馬会のお知らせ

※本年度は神田地区で開催します。

日時：平成25年11月16日（土曜日）※雨天中止
場所：和泉公園（和泉小学校となり）千代田区神田和泉町1番地
参加資格：区内在住・在学の小学生以下のお子さん
※障がいのあるおさんは優先的に体験できます。
参加費：無料（事前申し込みは不要です。当日直接会場へ来て下さい。）



こちらのイベントはまだ予定ですので、変更になる場合がございます。決定後の詳細は、右記ホームページ又は千代田区広報誌にてお知らせいたします。 <http://seishonen.jp/>

主催：千代田区青少年委員会 協力：財団法人ハーモニセンター

子どもの遊び広場のご案内

～ボールを使って自由に遊ぼう！～

この度、平成25年4月1日に施行されました「千代田区子どもの遊び場に関する基本条例」に基づきまして、子どもたちの健全な心身の育成を図ることを目的とし、子どもが自由にボール投げなど外遊びを楽しめる環境を整えようと、区内2ヶ所で「子どもの遊び事業」を実施しております。 ※雨天中止

外濠公園総合グラウンド内芝生広場（毎週水曜日）14：00～16：00
和泉公園（毎週木曜日）15：00～17：00

尚、遊び場内では、あくまでも「自己責任」が基本となりますが、プレーリーダーが常駐し、子ども達に安全な遊び方や友達づくりの手助けをいたします。

※プレーリーダーとは、子ども達と一緒に遊んだり、安全管理をする区内の学生です。

主催：千代田区教育委員会事務局子ども総務課 03-5211-4273



管内研修

講師：日本鳥類保護連盟
岡安 栄作 氏



「子どものおもしろい行動と好奇心への扉」

平成25年5月14日（火）於 千代田区役所会議室

岡安さんには麴町小学校とお茶の水小学校の土曜ワークショップで、バードウォッチングを教えて頂いています。子どもたちに鳥や自然に興味を持ってもらうとき、まずは視覚や聴覚に訴えかけ「本物はどうなんだろう？」という関心や興味を引き付けていくそうです。また、ご自身も現在はボーイスカウトで指導者として活躍しており、未知のことに対する子どもの予想外な行動についていろいろお話してくださいました。危険だからさせないのが実は危険だということや、初めてのときは「大人が見守りながら」経験させることが大切だということ、そして「経験は自分自身を守ることができる」ということを、あらためて感じさせられた貴重なお話でした。



（公益財団法人日本鳥類保護連盟 <http://www.jspb.org/>）

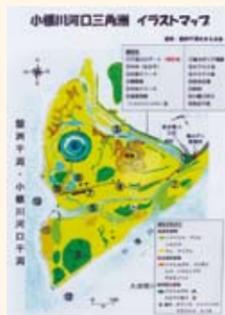
ひがた探検隊

青少年委員会の思いが詰まった自然体験プログラムです。今年で7年目になります。

千代田区の子ども達にたくさんの実体験を

現代は子どもたちもインターネットにクリックするだけで、サハラを旅したり、南極大陸の氷の世界を見ることができます。けれど、それはどこまでもバーチャルの世界で空気も香りも風の音もありません。青少年委員会では、手付かずの自然が残る環境の中で自然の不思議を感じたり、都会とは違う風の匂いや、暑さ、寒さを体験して欲しいと願い、『ひがた探検隊』を始めました。

(当時の中川会長の言葉より)



第1回(2007年)

参加小学生
30名
青少年委員
総勢 約50名

今では…

参加小学生 50名
中高生・大学生ボランティア
青少年委員
総勢 約100名



区役所前に集合。さあ出発!

5名ずつの子ども達とボランティアの学生、青少年委員がグループになって年間4回の活動をします。学年や学校は違っても、子どもたちは自然と仲良くなっていきます。

盤洲干潟のイラストマップ
なんだか魚の横顔に見えませんか?

第1回(春の部)ひがたを歩く



場所は千葉県木更津市の盤洲干潟、東京湾にたったひとつ、自然のままの形を残すひがたです。アクアラインを渡ってすぐの所にあります。潮風を感じながら歩いていくと、広いひがたが目の前に現れます。カニを見つけたり、貝を拾ったり・・・みんな夢中。どんな生き物を見つけられたかな? グループごとに見せあいました。



第2回(夏の部)スダテ漁

昔ながらの漁法で、潮が満ちているときにスダテの中に魚を追い込み、潮が引いたところで網や軍手で魚をつかみ取りします。

鯛・スズキ・ダツ・イイダコ・・・等、いろいろ捕れます。船上で捕らえた魚を刺身や天ぷらでいただきます。



第3回(秋の部)山と海は繋がっている。

山に降った雨が湧き水となり、川に流れ、海へと続いていく様子を体感するハイキングを実施しています。

山の割れ目からあふれ出す水が用水路を通っていく様子を観察します。



第4回(冬の部)海苔すき体験



数ヶ月かけて海で育った生海苔を細かく刻み、巻きすの上で型にはめて漉き、水切りをします。そのまま天日干しをしてパリパリの海苔を作ります。

海苔すきの後は漁師のランチ「鉄砲巻き」を作っていただきます。



リーダー講習会

毎年ひがた探検隊等でお世話になっているD&A Networksさん主催で学生および社会人リーダーのための講習会を開催しています。(協力：青少年委員会)

講師の中田弾さんから、地域活動を行っていくうえでの課題解決、子どもと関わる際の注意事項のお話を聞き、勉強しています。



中高生ボランティア

青少年委員会ではひがた探検隊で中高生ボランティアの育成をしています。



4回のひがた体験で、グループの中でのリーダーとして小学生のお世話をしたり、青少年委員や大学生リーダーのお手伝いをして貰います。この4回の体験で、段々とリーダーとしての自覚が芽生え、自分の意見もしっかり発表する事ができるようになり、小学生からは頼りになるお兄さんお姉さんへと成長してくれました。自然体験を通して、危険なこと、安全なこと自分より小さな子ども達への接し方、体験することの大切さ等色々学んでもらいたいと考えています。

ひがた探検隊長から

ひがたには、カニや鳥など数多くの生物が生息しています。様々な学校・学年の子ども達が協力をして生物を発見したり、実際に手に触れたりします。そして、昔ながらの方法で魚を捕まえ、新鮮で美味しいお刺身などをいただきます。その為にも、自然の恵のありがたさを知り、山や川・海の自然環境の広がりや、生き物たちの繋がりをひとつの繋がりと考えて守っていかねばいけないことを学び、子ども達一人ひとりが山や川・海を守るリーダーとなってもらいたいものです。